

## 『スポーツウエルネス学学位プログラム』が目指すもの

2020 年度より、筑波大学の教育体制が大きく変更され、大学院は学位プログラム化され、スポーツウエルネス学学位プログラムがスタートしました。本学位プログラムは、延期されましたが 2020 東京オリンピック・パラリンピック後の我が国のスポーツとウエルネス（健康）領域の課題解決型の高度人材の育成を目的としています。

また、学生の皆様のニーズに応えられるように、前期課程（修士）と後期課程（博士）の 2 課程を用意しています。これらの課程の教育・研究を通じて、是非皆さんとも連携しながら 2020 東京オリンピック・パラリンピックのレガシーの確立に本学位プログラムの活動が貢献したいと強く願っています。

レガシーとして重要なのは、①子どもから高齢者までの国民がスポーツを通じて如何に生活（人生）を充実させられるか、②スポーツにより経済的な側面も含めて地域の活性化にどれくらい貢献できるか、③今後 2040 年まで我が国の超高齢化による健康問題から生じる様々な社会課題（医療・介護・社会保障など）を克服するための社会技術を開発できるか、等があげられます。

スポーツウエルネスは、スポーツとウエルネス（健康）が融合した学問分野であり、それぞれの教員は教育、研究、そして社会貢献のいずれにおいても我が国でトップレベルの業績を持っています。それゆえ、我が国でもレガシーの確立に最も貢献できる体制の一つであります。

このように、今日、健康の価値はますます重要視され、それに対するスポーツの有意性が科学的に大きく認められています。さらに、これらの政策効果やそれらを支えるサービスとしてのビジネスを高めるための人材育成（リカレント）は、社会において大変重要となっています。

そして、本学位プログラムでは、それぞれの領域で生じ、これまで中々解決されていない困難な課題を解決できる実務的な力を向上させると同時に、各種経営資源の調達から、その維持・管理・運営、そして新たなビジョンの開発といったプロモーションやマネジメントを適切に行える力を高めます（イノベーション力、課題解決力）。

これらの課程を通じて本学位プログラムを修了する段階で皆さんは、少子超高齢社会や人口減社会から生じる様々な社会課題を解決し、それらのプロセスにおけるノウハウ及び成果をグローバルに展開できる力が向上し、社会改革に貢献できる人材になっていることでしょう。

是非、筑波大学院の門を叩いた初心を忘れず、本日から研究に励んでください。

筑波大学人間総合科学学術院人間総合科学研究群  
スポーツウエルネス学学位プログラム博士前期課程・後期課程